

## I でん粉の概況

### 1 海外の動向

#### (1) 天然でん粉概況

2009年の世界の天然でん粉の生産量は、2,332万1千トンであった。原料別では、コーンスターチ1,254万トン、タピオカでん粉803万8千トン、ばれいしょでん粉161万4千トン、小麦でん粉112万9千トンとなっている。タピオカでん粉については、主産地であるタイで発生した害虫の被害により生産量が大幅に減少し、価格も上昇することとなった。

消費量については、経済状況を反映して、製紙業などにおける需要が減退することとなった。特にコーンスターチについては、競合するばれいしょでん粉が、主産地であるEUにおいて豊作であったこと、小麦の生産コストが安価であったことなどから、価格が相対的に高くなり、消費への影響が大きかった。

※データは農畜産業振興機構委託調査会社 LMC International Ltd. による。

#### (2) とうもろこしの国際価格の推移

コーンスターチの原料であるとうもろこしについて、2009年4月から2010年3月のシカゴ先物相場（期近）を見ると、2009年6月には2009年度産の作付けの遅れ等からブッシュル当たり400セント前半まで上昇したが、9月には豊作見通しなどから、同320セント前後の水準まで下落した。その後、米国産地の降雨による収穫の遅れなどから再び上昇したが、2010年度産の作付け進捗が順調に推移したことなどから、同300セント台半ばで推移し、2010年3月の月平均の価格は、同362.91セントとなった。

### 2 国内の動向

#### (1) でん粉概況

平成21年産の国内産いもでん粉の生産量は、ばれいしょでん粉については、作付面積の減少に加え、7月の低温と多雨の影響によりばれいしょが小玉傾向となったことから集荷量が減少したため、前年度から2万5千トン（11.2%）減少し、19万8千トンとなった。一方、かんしょでん粉については、生育期の天候に恵まれ生育が良好だったことから、生産量は前年度から6千トン（13.0%）増加の5万2千トンとなった。

コーンスターチ用とうもろこしの20年4月から21年3月の輸入量は、309万4千トンであった。でん粉の輸入量は、コーンスターチが764トン、ばれいしょでん粉が1万6,944トン、マニオカでん粉が13万5,349トン、サゴでん粉が1万6,097トン、その他が894トンであった。また、化工でん粉の輸入量は、でん粉誘導体が40万1,673トン、デキストリンが2万165トン、膠着剤及び仕上げ剤などが301トンであった。

### 3 国内産いもでん粉の生産動向

#### (1) ばれいしょでん粉

##### ① ばれいしょの生産

平成 21 年産ばれいしょの作付面積は前年産比 900ha 減の 5 万 4,300ha、作付農家戸数は前年産比 500 戸減の 1 万 4,900 戸、1 戸当たりの作付面積は前年産比 0.06ha 増の 3.64ha であった。

平均の 1 ha 当たりのばれいしょの収量は 34.6 トン（前年産 38.6 トン）、総収量は 187 万 9,000 トン（前年産 213 万 1,000 トン）といずれも前年産に比べ減産となった。このうち、でん粉原料用ばれいしょは 87 万 5,000 トン（前年産 101 万 9,000 トン）と前年産比 14 万 4,000 トン減の収量となった。

##### ② ばれいしょの生育概況

北海道のばれいしょは、7 月の低温と多雨の影響により育成が進まなかった。この結果、ばれいしょ 1 個の重量はやや小さめとなり、例年よりやや不作となった。

##### ③ ばれいしょでん粉の生産

平成 21 年産のばれいしょでん粉生産量は、19 万 8,000 トン（前年産 22 万 3,000 トン）と前年産比 2 万 5,000 トンの減となった。歩留りは 22.6% と例年より高くなった。

#### (2) かんしょでん粉

##### ① かんしょの生産

平成 21 年産のかんしょの作付面積は、前年産比 200ha 増の 1 万 7,500ha、作付農家戸数は、前年産比 1,200 戸減の 1 万 9,400 戸、1 戸当たりの作付面積は、前年産比 0.06ha 増の 0.9ha であった。

平均の 1 ha 当たりのかんしょの収量は 29.1 トン（前年産 28.3 トン）、総収量は 50 万 9,000 トン（前年産 49 万 1,000 トン）と、いずれも前年産に比べて増産となった。このうち、でん粉原料用かんしょは 16 万 6,000 トン（前年産 15 万 1,000 トン）と、前年産比 1 万 5,000 トンの増産となった。

##### ② かんしょの生育概況

でん粉原料用かんしょの主産地の鹿児島県では、4 月に適度な降水があったことから苗の活着は順調であった。5 月から 9 月では例年より降水量が少なかったが、日照時間が平年より長く生育は順調であったため、単収、収量ともに前年よりも増加した。

##### ③ かんしょでん粉の生産

平成 21 年産のかんしょでん粉生産量は、5 万 2,000 トン（前年産 4 万 6,000 トン）と前年産比 6,000 トンの増となった。歩留りは 31.1% とほぼ前年並みであった。